

(お 知 ら せ)



平成24年 8月 7日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（平成24年8月7日現在）

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 平成23年1月26日～未定*
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第18回定期検査中 平成23年8月29日～未定*

（ ）内は定格電気出力

*：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。

2. 故障等の状況について（平成24年7月7日～平成24年8月7日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所3，4号機 準備工事について（平成24年8月7日現在）

（1）建設準備工事

現在、敷地内での盛土試験、背後斜面の緑化維持管理等を継続して行っています。

（2）仮設工事関係

現在、仮設用地内のコンクリートプラントにおいて、コンクリートの品質確認のための試験を行っています。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

- (1) 当社は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に関連し、以下の発表を行いました。
- ・「原子力緊急事態支援組織」の設置について
 - ・原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施状況
- 詳細については別紙をご参照下さい。

(2) 敦賀発電所敷地内の破砕帯の追加調査状況

当社は、平成24年5月14日の「地震・津波に関する意見聴取会」において説明した敦賀発電所敷地内の破砕帯の追加調査計画に基づき、既往露頭の観察・分析、トレンチ・大深度調査坑の位置特定のためのボーリング調査及びD-5破砕帯調査に係わる大深度調査坑の堀削等を実施しています。なお、調査状況については、当社ホームページにおいて定期的に公表しています（原則毎週月曜日更新）。

(3) 猪ヶ池における津波堆積物の追加調査について

当社は、津波堆積物調査を関西電力株式会社及び独立行政法人日本原子力研究開発機構と協調して取り組んできており、平成24年7月17日の「地震・津波に関する意見聴取会」に提出した猪ヶ池に関する追加調査計画に基づき、10月までに採泥調査、露頭調査及び海底堆積物の分析等を行い、調査結果を取り纏めてまいります。

5. その他

(1) 敦賀発電所2号機の循環水配管の損傷事象における原因と対策について

平成24年7月6日14時頃、敦賀発電所破砕帯追加調査のボーリング作業において、地下に埋設されている2号機循環水※配管を損傷させる事象が発生しました。

当該系統は停止中で水抜きされており、損傷箇所からの海水等の流出はなく、また、当該系統には放射能は含まれておらず、本事象による周辺環境への影響はありません。

(平成24年7月9日発表済)

調査の結果、以下のことから、誤った位置でボーリングを実施し、循環水配管を損傷させたと推定しました。

○請負会社は、ボーリング位置と埋設物の位置を示す図面（以下「位置図」という。）を作成する際、2本の循環水配管の中心だけを表記したため、1本の配管の幅と誤解し、ボーリング位置と循環水配管とは干渉しないと判断しました。

○当社は、請負会社が作成した位置図を確認していませんでした。

対策として、請負会社は、位置図とともに埋設物等確認チェックシートを作成し、埋設物と干渉しないことの確認を行い、当社も位置図及び埋設物等確認チェックシートにて確認することとしました。

上記の埋設物等確認チェックシートにて確認が完了したものから、ボーリング作業を再開します。

なお、損傷した循環水配管は、内部の点検等を行っており、今後、補修を行います。

※：タービンを回転させた後の蒸気を水に戻すために、冷却用の海水を供給する系統。

(平成24年7月16日発表済)

その後、埋設物等確認チェックシートにて埋設物と干渉しないことの確認が完了したものから、ボーリング作業を再開しました。

(2) 敦賀発電所1号機補機冷却海水ポンプ出口弁からの僅かなにじみについて

平成24年7月11日13時30分頃、当社社員が補機冷却海水ポンプ※A号機出口弁（以下「A号機出口弁」という。）の弁箱より僅かな海水のにじみがあることを確認しました。このため、補機冷却海水ポンプAを停止するとともにA号機出口弁を閉とし、にじみ箇所について、止水措置を実施し、にじみは止まりました。

また、平成24年7月25日10時50分頃、当社社員が補機冷却海水ポンプB号機出口弁（以下「B号機出口弁」という。）の弁箱の一部に変色を確認したため、表面を磨いたところ、僅かな海水のにじみがあることを確認しました。このため、B号機出口弁を閉とし、にじみ箇所について止水措置を実施し、にじみは止まりました。

A号機出口弁については、弁箱の肉厚測定を行い補修剤の塗布による補修を行いました。また、B号機出口弁については、弁箱の肉厚測定を行った後、外面への補修剤の塗布等により補修を行います。今後、A号機出口弁及びB号機出口弁を取替え、原因調査を行います。

※：使用済燃料プール水の冷却等のために、冷却用の海水を供給しているポンプ。

(平成24年7月11日、25日発表済)

その後、B号機出口弁については、弁箱の肉厚測定を行い、現在、補修剤の塗布による補修を行っています。

(3) 原子力関連情報が入った鞆の紛失について

平成24年7月25日、当社社員が原子力発電所の設備に関する技術検討資料等が入った鞆1つを、敦賀市内で紛失しました。

紛失した鞆に入っていた資料には、核物質防護に関する情報は含まれておらず、発電所の安全確保上問題となるものではありません。

当社では、これまでも原子力発電所に関する情報管理の徹底に努めてまいりましたが、今後、このようなことがないよう更に厳正・適正管理を徹底し、必要な再発防止を講じます。

(平成24年7月26日発表済)

(4) 「敦賀総合研修センター公開研修コースご案内」のホームページ掲載について

当社は、敦賀市^{くつみ}沓見に建設中の敦賀総合研修センターの本格運用開始（平成24年10月予定）に向けて、同研修センターで行なう安全文化関係及び安全技術関係の公開研修コース全29コースへの参加募集のご案内を、当社ホームページに掲載しました。

なお、公開研修コースは、福井県が進める「エネルギー研究開発拠点化計画」における取り組みの一つです。

(5) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

1) 第6回八洲学童書展

〔八洲書道教室（代表：幸光 八洲 様）の小学生から高校生の皆様による個性豊かな学童書展です。子供たちの成長はすばらしいものがあり、日頃の練習の成果をご覧いただきたく、硬筆、半紙、条幅作品を175点展示しています。〕

（8月7日～8月19日）

2) 南公民館自主学習教室 第3回写団・フォト南例会展

〔発足して3年余りのフォト南（代表：松永 節夫 様）の皆様による写真展です。デジカメやパソコンを使った作品作りを始められる等楽しく前向きに学習されており、過去1年間で撮影した作品を33点展示予定です。〕

（8月21日～8月26日）

3) 敦賀市短歌人会色紙展

〔平成13年に結成され、約40名で活動されている敦賀市短歌人会（代表：上田 善朗 様）の皆様による作品展です。市民文化祭に毎年参加し、各地のコンクール等で数多く入賞、歌集を出版される方もいらっしゃいます。色紙による作品を40点展示予定です。〕

（8月28日～9月9日）

(6) 次世代層等への教育支援活動関連イベント

＜次世代層等への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

“げん丸塾”「夏の星空観察会」

対象：げん丸塾生（会員制）

会場：児童文化センター（敦賀市こどもの国）

マキノピックランド駐車場（滋賀県高島市）

日程：8月10日（金）

以 上

東北地方太平洋沖地震への対応実績（７月７日以降）

（１）「原子力緊急事態支援組織」の設置について

電気事業連合会は、東京電力福島第一原子力発電所の事故対応の教訓を踏まえ、万が一事故が発生した場合でも、多様かつ高度な災害対応が可能な支援体制を平成２４年以内に整備した上で、平成２７年度中に「原子力緊急事態支援組織」を設置することを発表しました。こうした支援体制をできるだけ速やかに整備し、段階的に充実させるため、当社が主体となり、必要なロボットを調達するとともに、ロボット等の資機材の搬送手段及び電力各社の操作要員を平成２４年以内に確保します。また、ロボット等の資機材の集中管理及び電力各社の操作要員の訓練を継続的に行う専任チームを平成２５年３月までに整備します。

（平成２４年７月２０日 電気事業連合会と共同発表済）

（２）原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施状況

当社は、「平成２３年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価実施計画書」に基づく、敦賀発電所における津波評価を、平成２４年８月を目途に報告します。

また、浦底断層の活動に伴う地盤の変位評価については、評価がまとまり次第報告することとしており、評価の進捗状況を平成２４年９月を目途に報告します。なお、敷地内の破碎帯に関する追加調査については、平成２４年１１月に完了するよう平成２４年５月から調査を開始しています。

（平成２４年７月３１日発表済）

以 上